

事務事業	14008	糟屋地区教育委員会連絡協議会参画事業	担当課	学校教育課	担当係	学校教育係	
計画 後 期 計 画 系 画	施策	06	子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる	予 算 科 目	会 計	1	一般会計
	取り組み方針	190	学力向上と豊かな心を育てる		款	10	教育費
					項	1	教育総務費
					目	2	事務局費
法令根拠条例等			個別計画				
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		S50	年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 学校教員や教育委員等、糟屋地区内の教育委員会相互の連絡調整をし、情報の交換を行う。		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
		主 な 事 業 費 の 内 訳	糟屋地区教委連絡協議会負担金 2,350 千円
			千円
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 糟屋地区教育委員会連絡協議会からの請求に応じて、負担金を支払う。			千円
			千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 負担金の支払
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 教育委員、教育委員会事務局員、学校職員、糟屋地区教育委員会連絡協議会委員
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 教育に関して必要な情報を得る。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 負担金額	千円	2,354	2,350	2,354 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	29年度	30年度	31年度	
ア 委員・事務局職員・学校職員数	人	328	341	356 (見込)	
イ 協議会参加市町村数	市町村	8	8	8 (見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位		29年度	30年度	31年度
ア 研修会等出席回数	回	目標	20	23	25
		実績	23	25	
イ		目標			
		実績			
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	2,354	2,354	2,350	2,354			
		合計(A)	2,354	2,354	2,350	2,354	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
	正職員人件費[按分](B)	297	319	292	309				
トータルコスト(A)+(B)	2,651	2,673	2,642	2,663	0	0			

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
糟屋地区内教育委員会相互の連携を密にし、教育委員会の健全な運営を図るため。	少子高齢化・情報化・国際化の進展等、変化の激しい社会の中で、教育改革が行われ、教育委員会のあり方も問われる時代になっている。	糟屋地区内での情報交換や多くの事業を共同で推進することで、学校教育の充実に寄与している。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	糟屋地区内の教育委員会相互の連帯を密にし、教育委員会の健全な運営を図り教職員の研修など教育的支援を行うことは義務教育の充実に結びついている。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	負担金は、糟屋地区の教育に関する情報の交換や、糟屋地区で行われる教職員等の研修の一部に充てられ、教育委員会の運営の円滑化、教職員の資質の向上を図ること等を目的とした事業が実施されており、妥当である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	現在、他市町との連携は出来ており、教職員研修や中体連(中学校体育連盟)、中文連(中学校文化連盟)等の活動を通して教育に関して必要な情報を十分に得ることができている。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	協議会の運営ができない場合、現在協議会が補助している教職員研修や中体連、中文連等の活動ができなくなり、他市町との会議や研修を通して情報交換や連携を取るのが難しくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	コストを削減すると、会議や研修会の回数を維持できなくなり、地域の他市町との連携が取るのが難しくなる。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

糟屋地区教育委員相互の連携を密にし、より一層の健全運営に努めることができた。来年度も本事業を継続する。

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	